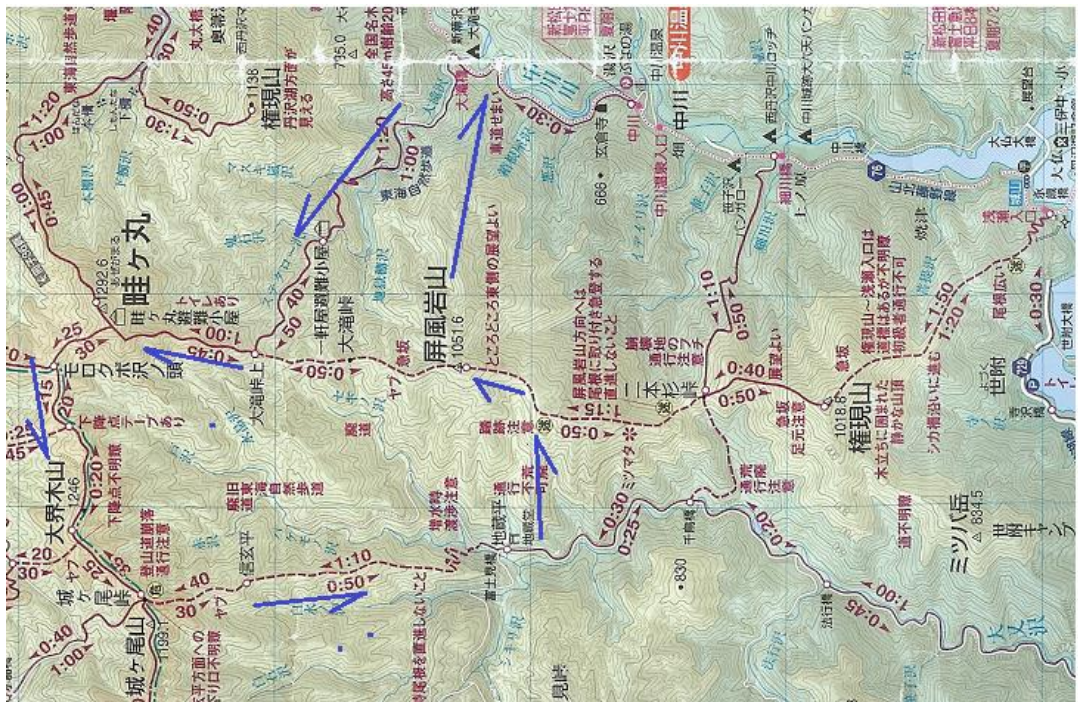


畦ヶ丸 — 地蔵平一周

K. T.

- 山域・山名 : 西丹沢・畦ヶ丸
- ルート名 : 大滝—大滝峠上—畦ヶ丸—大界木山—城ヶ尾峠—信玄平—地蔵平—屏風岩山—大滝・一周コース
- 期間 : 2013年 9月 7日(土)
- 天候、参加者 : くもり時々小雨、参加者2名
- コース概要 : 大滝 5:35—大滝峠上 7:35—畦ヶ丸 8:40—大界木山 9:55—城ヶ尾峠 10:24—信玄平 11:12—地蔵平 12:17—32—屏風岩山 14:17—27—大滝 16:06 /合計 10.5時間



前日、西丹沢自然教室の駐車場に泊まる。

悪天候の予報のためか、駐車場には車が1台も無い、明日は中止かな……。

当日はくもり、大滝橋へ移動、林道を少々入ったところのゲート先へ車を止める。

畦ヶ丸までは、何度も歩いたコースで、迷う心配もなく、良く歩かれているコースだ。

ただ、林道から沢を渡り、山道に入り2、3歩の所がいつも不安、後ろを歩くO(オ)が、気を許していたのか、滑っていた。

途中にはステンレス製のはしごで遠くからでもわかる、2年前もあったが輝いて見える。避難小屋前の道は、いつも崩れそう、う回路もあるがまっすぐな道を進む。

小屋までの道は、湿度が高いので短い時間でも汗だくだく、小屋全体もじめじめ、今回の山行は汗との戦いかなと思った。

大滝峠上に向かう途中で、1カ所だけいつも迷うところがある。沢伝いに歩いていて、そのまま行く感じだが、実は、左の急斜面に曲がらないといけな箇所がある。今回もそろそろと考えていたが、迷わずに斜面に登っていくので、おかしいと思いつつ下の斜面を見渡すと、今までの道は荒れて、崩れていて、分かりやすい新しい道となっていた。大滝峠上からは、登山道両側間にはられた蜘蛛の巣と汗との戦いの登り、最後の急登りで畦ヶ丸の避難小屋であった。

小屋から城ヶ尾峠方面へ歩き始めてすぐに鎖、道幅もせまくなり、竹・草がうっとおしい。道志側を下る分岐が2つあり、2つのピークを登り詰めると大界木山であった。大界木山から熊笹の中を、城ヶ尾峠に下る。城ヶ尾峠の道標には、道志／菰釣山／畦ヶ丸の案内はあったが、信玄平はなかった。私たちは信玄平への案内のない道に入った。間もなく、丸木橋はあるが、斜めになっていてとても渡れない沢となった。

丸木橋に至る手前も崩れていたなので、そこを回避して沢におりて渡る。

2つ目の沢は、トラバースしている踏み跡もあったが、相当危険におもえたので、高巻く道を選んで行った。その先の道は、特に心配な所はなく、信玄平へ昔の東海自然歩道を進んだ。信玄平では、先程通った大滝峠への道標があったが、“上級者のみ・・・”との内容で、5、6本の沢を渡るようです。

その後は、なだらかな杉林の中を通過して、川を渡って地蔵平となった。ただし、ふりかえると、上り口は藪と川で、分かりそうになかった。

地蔵平からどのようにして、山を1つ越えた大滝（車のある大滝）に戻るか？

案1は、林道を延々と歩き、舗装道を歩いて浅瀬入口バス停へ、バスで大滝へ戻る。

案2は、林道を歩き法行橋から権現山に登り、細川橋又は浅瀬橋のバス停に下る。

案3は、林道を1/3歩き2本杉峠に登り、2本杉峠から屏風岩山、大滝へ。

2本杉峠からは下った時があり、この道は荒れていて登りたくなかった。

最後の案は、地蔵平から地図を見て登れそうな尾根に登る（816m－960mの尾根）そして、屏風岩山、大滝へ。このコースを選んだ。

登り口は、権現山に向かう古い登山道があり、そこから入った。1つ目の尾根を越えるところで、816mのピークを目指して、山側に入った。1時間程度で屏風岩山に向かう登山道に出て進んだ。屏風岩山からは、以前も下ったことのある尾根を進んだ。以前来たときは、春で、ミツマタの花が咲いて、きれいで明るい尾根だったが、今回は夏なので草ボーボーで、暗い尾根で、長かった。

—以上—